

## 「公立大学法人札幌市立大学中期目標(第四期)(案)」 に対するご意見を募集します

札幌市では、地方独立行政法人法の規定により、公立大学法人札幌市立大学が達成すべき業務運営に関する6年間の目標を定めております。このたび、同法人の令和6～11年度の目標に当たる「公立大学法人札幌市立大学中期目標(第四期)(案)」をまとめました。この案につきまして、皆さまからのご意見を募集します。

なお、いただいたご意見について、個別の回答はいたしません。ご意見の概要とご意見に対する札幌市の考え方について、別途ホームページなどでご紹介いたします。

### ご意見募集要領

#### 1 ご意見募集期間

令和5年(2023年)9月26日(火)～10月25日(水)【必着】

#### 2 目標(案)の配布・公表場所

- 札幌市役所本庁舎 2階 市政刊行物コーナー（札幌市中央区北1条西2丁目）
- 札幌市役所本庁舎 5階 まちづくり政策局政策企画部企画課（同上）
- 各区役所 総務企画課広聴係
- 各まちづくりセンター
- 札幌市立大学 芸術の森キャンパス(札幌市南区芸術の森1丁目)、桑園キャンパス(札幌市中央区北11条西13丁目)、サテライトキャンパス(札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12階)、まこまないキャンパス(札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2 まこまる(旧真駒内緑小学校)内)
- 札幌市役所ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/daigaku/>

#### 3 ご意見提出方法

提出方法	提出先
・郵送	〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 まちづくり政策局政策企画部企画課(市役所5階) FAX:011-218-5109 電子メール:daigaku@city.sapporo.jp
・持参	
・FAX	
・電子メール	

#### 4 留意事項

- ・ご意見は別紙「ご意見記入用紙」によりご提出ください。
- ・ご意見の提出に当たっては、お名前、ご住所、年齢(年代)を記入願います。
- ・お名前、ご住所等は、集計以外の目的に用いることはありません。個人情報保護法の規定に従い、適切に取り扱います。
- ・電話によるご意見の受付は行っていません。

#### 5 お問い合わせ先 まちづくり政策局政策企画部企画課 電話:011-211-2192



# 公立大学法人札幌市立大学中期目標（第四期）（案）について

## 1 法人・大学の概要

### (1) 開学

平成18年4月

### (2) 法人の理念・目的

理 念	○人間重視を根幹とした人材の育成 デザイン学と看護学に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性かん養し、有為な人材を育成する。
	○地域社会への積極的な貢献 「市民が開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げ、地域貢献という使命を果たし続けていくため、質の高い教育研究を追求する。
目 的	○学術研究の高度化等に対応した職業人の育成 デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。
	○知と創造の拠点 産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上、市民の健康保持・増進などへの貢献を果たす。また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元し地域貢献を実現する。

### (3) 学部等の構成、収容定員

	学部（専攻科を除く。）	専攻科	博士前期課程	博士後期課程
デザイン	360	—	36	9
看護	340	10（助産学）	36	9

## 2 中期目標と中期計画について

中期目標	設立団体の長（札幌市長）が、法人（札幌市立大学）に対して、6年間で達成すべき業務運営に関する目標を定め、法人に指示するもの。
中期計画	設立団体の長が指示した中期目標を達成するために、法人が計画を作成し、設立団体の長が認可を行うもの。

## 3 これまでの成果

### 第一期中期目標・計画期間（平成18年4月1日～平成24年3月31日）

#### 【大学基盤の構築】

- 共通教育、学部の専門教育の双方に熱心に取り組み、広い視野を持つ人材を育成
- 助産学専攻科開設、大学院の設置

### 第二期中期目標・計画期間（平成24年4月1日～平成30年3月31日）

#### 【地域志向の大学づくり】

- 地域志向の教育（科目）の充実
- COC事業\*の展開（※自治体と連携し地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める事業）

### 第三期中期目標・計画期間（平成30年4月1日～令和5年3月31日）

#### 【市民が実感できる成果の追求】

- A I Tセンターの開設により、D×NをA I ・ I Tにより下支えする先進的な研究や教育の質の向上を推進
- 「看護コンソーシアム\*」を基盤とした地域で活躍する看護職を育成（※医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質の保証などを目指す共同体）

## 4 中期目標（第四期）（案）の概要

### 中期目標の基本的な考え方

平成18年4月に開学した札幌市立大学は、「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を教育研究上の理念として掲げ、「D×N」（デザインと看護の連携）により教育・研究・地域貢献に取り組んできた。さらに令和4年4月からは、A I Tセンターを開設し、「D×N」をA I・I Tが下支えする先進的な研究や教育の質の更なる向上を推進してきた。

昨今は、デジタル化・脱炭素化の世界的な潮流や、グローバル競争の激化、人口減少・少子高齢化の進行など多種多様な課題が取り巻いており、今なお変化途上の予測不能な時代の渦中にある。今後も一層、複雑性を増していくことが想定される社会環境下においては、普遍的知識・能力で状況を打開し課題解決に導く人材が重視されており、高等教育を担う大学には未来を支える人材の育成が求められている。そして、札幌市立大学は、「知と創造の拠点」として、これまで培ってきた実績やネットワークを生かし、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」により分野横断的に取り組むこととされている、ユニバーサル（共生）・ウェルネス（健康）・スマート（快適・先端）・人口減少緩和に関する課題解決に貢献していくことも期待されている。

こうした背景を踏まえ、第四期の中期目標においては、リベラルアーツやデジタル分野の素養を備えた人材育成を強化していくとともに、産学官連携の中心として地域に貢献していくことで、市民が価値を実感し、誇れる大学を目指す。特に、A I Tセンターの強みを生かし、D（デザイン）とN（看護）にA（A I・I T）を掛け合わせた「DNA」連携を推進することで、教育・研究・地域貢献の取組を更なる高みへと押し上げ、市民や地域社会へ成果を還元するとともに、広報マネジメントを強化することにより、国内外におけるプレゼンスを高めていく。

第1 目標期間 令和6年4月1日～令和12年3月31日

第2 教育に関する目標（第2～第5の下線部は中期目標（第四期）において新たに明記した項目や視点）

「DNA」連携の推進により、各分野における専門性・実践能力を有し、幅広い教養やA I・I Tの活用力、環境共生の知見を備え、主体性を持って、新たな価値を創造しながら未来を切り開いていくことのできる人材を育成する。

第3 研究に関する目標

- ① 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を踏まえ、社会課題解決に資する研究を推進し、市民の実感に結びつく成果を追求する。
- ② 「DNA」連携による先進的で質の高い研究を推進し、研究成果やその活用事例を積極的に公表・発信し外部資金獲得につなげていくとともに、研究機関としての地位の向上を図る。

第4 地域貢献に関する目標

- ① 産学官連携を通して地域課題の解決に取り組むとともに、知的資源の還元等により健康寿命の延伸、防災・減災の推進及び地域コミュニティの振興に貢献する。
- ② デジタル・看護分野のスキル習得プログラム等の学び直しの機会の提供による人材の育成・創出やニーズに即した新たな価値の創造・人材の育成を通じ、地域産業の振興及び地域医療の充実に貢献する。

第5 大学運営に関する目標

- ① 海外提携校との研究交流等による国際化及び戦略的な広報等によるプレゼンスの向上
- ② 戦略的な運営やワーク・ライフ・バランスの向上、デジタル化による業務改善及び効率化
- ③ 自己点検・評価の実施、経営状況等の適切な情報公開
- ④ 外部競争資金、寄附金等の自己収入の獲得及び資産の適正管理と有効活用
- ⑤ 災害や感染症等の有事に備えた施設・備品等の維持管理、脱炭素社会の実現への貢献など

## 公立大学法人札幌市立大学中期目標（第四期）（案）

### 中期目標の基本的な考え方

平成18年4月に開学した札幌市立大学は、「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を教育研究上の理念として掲げ、「D×N」（デザインと看護の連携）により教育・研究・地域貢献に取り組んできた。さらに、令和4年4月からは、A I Tセンターを開設し、「D×N」をA I ・ I Tが下支えする先進的な研究や教育の質の更なる向上を推進してきた。

昨今は、デジタル化・脱炭素化の世界的な潮流や、グローバル競争の激化、人口減少・少子高齢化の進行など多種多様な課題が取り巻いており、今なお変化途上の予測不能な時代の渦中にある。今後も一層、複雑性を増していくことが想定される社会環境下においては、普遍的知識・能力で状況を打開し課題解決に導く人材が重視されており、高等教育を担う大学には未来を支える人材の育成が求められている。そして、札幌市立大学は、「知と創造の拠点」として、これまで培ってきた実績やネットワークを生かし、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」により分野横断的に取り組むこととされている、ユニバーサル（共生）・ウェルネス（健康）・スマート（快適・先端）・人口減少緩和に関する課題解決に貢献していくことも期待されている。

こうした背景を踏まえ、第四期の中期目標においては、リベラルアーツやデジタル分野の素養を備えた人材育成を強化していくとともに、産学官連携の中心として地域に貢献していくことで、市民が価値を実感し、誇れる大学を目指す。特に、A I Tセンターの強みを生かし、D（デザイン）とN（看護）にA（A I ・ I T）を掛け合わせた「DNA」連携を推進することで、教育・研究・地域貢献の取組を更なる高みへと押し上げ、市民や地域社会へ成果を還元するとともに、広報マネジメントを強化することにより、国内外におけるプレゼンスを高めていく。

### 第1 中期目標の期間等

#### 1 中期目標の期間

中期目標の期間は、令和6年4月1日から令和12年3月31日までの6

年間とする。

## 2 教育研究上の基本組織

次のとおり大学の教育研究上の基本組織を置く。

学 部	デザイン学部
	看護学部
研 究 科	デザイン研究科
	看護学研究科

## 第2 教育に関する目標

「DNA」連携の推進により、各分野における専門性・実践能力を有し、幅広い教養やAI・ITの活用力、環境共生の知見を備え、主体性を持って、新たな価値を創造しながら未来を切り開いていくことのできる人材を育成する。

### 1 高度職業人の育成

- (1) デザイン分野においては、変化の大きい社会環境下においても、デザイン思考の活用により、本質的な課題・ニーズを発見し、地域・社会の様々な課題を解決していくことのできる職業人を育成する。
- (2) 看護分野においては、少子高齢化対策や虐待防止、感染症対応など地域や時代の特性を踏まえた課題と向き合い、対応できる実践能力を備えた職業人を育成する。

### 2 学生に対する支援

- (1) 学生が希望する進路の実現に向けて、キャリア支援を充実させる。
- (2) 経済的な事情や障がいの有無、国籍、就労状況等を考慮し、多様な学生が円滑に修学できる支援体制や環境を整備する。

## 第3 研究に関する目標

「知と創造の拠点」として、地域の特性や社会環境の変化・ニーズを踏まえ、まちづくりや経済発展に資する研究を推進する。

### 1 市民の実感に結びつく研究の推進

「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」が定めるユニバーサル（共生）・ウェルネス（健康）・スマート（快適・先端）・人口減少緩和の各プロジェクト

トを踏まえ、社会課題解決に資する研究を推進し、市民の実感に結びつく成果を追求する。

## 2 研究機関としての地位の向上

「DNA」連携による先進的で質の高い研究を推進し、研究成果やその活用事例を国内外に向けて積極的に公表・発信することで、受託・共同研究等による外部資金獲得につなげていくとともに、研究機関としての地位の向上を図る。

## 第4 地域貢献に関する目標

「市民に開かれた大学、市民の力になる大学、市民が誇れる大学」として、「DNA」連携の特色を生かした教育・研究活動を通じて培った知的資源を積極的に還元することで、地域に貢献するとともに、大学の教育・研究活動を更に活性化させる。

### 1 地域社会への貢献

- (1) 企業・団体、他大学、高等学校、行政機関等との連携を通して、地域の発展に寄与するとともに、地域課題の解決に積極的に取り組む。
- (2) 大学が培ってきた知的資源の還元や市立札幌病院を始めとした札幌市との緊密な連携により、健康寿命の延伸、防災・減災の推進及び地域コミュニティの振興に貢献する。

### 2 地域産業及び地域医療への貢献

- (1) 学ぶ意欲がある社会人等を対象としたデジタル分野や看護分野のスキル習得プログラム等の学び直しの機会を提供することにより、地域産業や地域医療を担う人材の育成・創出に取り組む。
- (2) 産学官連携の取組推進や企業・団体等との活発な交流により、潜在するニーズを積極的に把握し、新たな価値の創造や人材の育成につなげることで、地域産業の振興及び地域医療の充実に貢献する。

## 第5 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標

教育・研究・地域貢献の取組を推進するため、学長(理事長)のリーダーシップの下、戦略的、機動的かつ効率的な大学運営を行う。

## 1 大学の国際化及びプレゼンスの向上

- (1) 国際的な研究論文の発表や海外提携校との交流、グローバル人材の育成強化などを通じて、大学の国際化を進める。
- (2) 大学が築き上げてきた価値・成果の戦略的な広報や市民を始めとした様々な主体との有益な関係の構築により大学のブランドイメージを高め、プレゼンスの向上を図る。

## 2 業務運営の改善及び効率化

- (1) 大学事務局の機能強化等により、社会環境の変化・ニーズに応じた機動的な教育・研究・地域貢献の取組を実現していくとともに、大学の将来を見据えた戦略的な運営を行う。
- (2) 教職員を適正に確保し、ワーク・ライフ・バランスの向上を図るとともに、デジタル化を進めるなど業務の改善及び効率化に取り組む。

## 3 自己点検・評価の実施・公表

継続的に自己点検・評価を実施し、大学運営の質の改善・向上に取り組むとともに、経営状況等に関して適切な情報公開を行うことで、社会への説明責任を果たす。

## 4 財務内容の改善

外部競争資金、寄附金等の自己収入の更なる獲得に取り組むとともに、資産の適正管理と有効活用を図り、自立性の高い健全な財政運営を確保する。

## 5 その他業務運営の適切な遂行

- (1) 災害や感染症等の有事に備え、学生・教職員の安全確保のための施設・備品等の維持管理及び体制確保を行う。
- (2) SDGsの視点を反映させた取組を推進するとともに、脱炭素社会の実現へ積極的に貢献する。
- (3) 各種法令の遵守及び情報セキュリティ対策により、コンプライアンスの徹底を図る。
- (4) 国の高等教育政策等の動向を踏まえ、入学者選抜試験を適切に実施するとともに、出願手続方法の改善等により、学生が志願しやすい環境を確保する。

## 用語の説明

### ○A I

Artificial Intelligenceの略。人工的にコンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようという試み、あるいはそのための一連の基礎技術。

### ○I T

Information Technologyの略。情報や通信に関連する科学技術の総称。

### ○脱炭素化

ゼロカーボン(地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること)を実現すること。

### ○グローバル競争

国際競争。国際市場における国家間・企業間の競争。

### ○リベラルアーツ

専門職業教育としての技術の習得とは異なり、思考力・判断力のための一般的な知識の提供や知的能力を発展させることを目標にする教育。

### ○プレゼンス

存在感。影響力。

### ○デザイン思考

デザイナーがデザインを考案する際に用いるプロセス(共感、定義、アイデア、試作、テスト)を多種多様な課題解決のために活用する考え方。

### ○職業人

職業能力を有する人材。

### ○健康寿命

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

### ○海外提携校

学術及び教育上関心を持つ分野において、共同研究、教員の交流、学生の交流、情報交換等についての活動を行うため、学術交流協定を締結している日本国外の学校。現在、札幌市立大学においては、承德医学院（中国）、清華大学美術学院（中国）、華梵大学（台湾）、ラップランド大学（フィンランド）、国立台中科技大学（台湾）及びパシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート（アメリカ）と当該協定を締結している。

### ○グローバル人材

豊かな語学力やコミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神などを身に付けた様々な分野で活躍できる人材。

### ○ブランドイメージ

ここでは、市民を始めとした様々な主体が札幌市立大学に対して抱く印象のこと。

### ○外部競争資金

学外の資金配分主体が、研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金。

### ○SDGs

Sustainable Development Goalsの略。平成27年（2015年）9月の国連サミットで採択された令和12年（2030年）までの世界共通の目標である「持続可能な開発目標」のこと。「誰一人取り残さない」という理念の下、17のゴール（目標）と169のターゲット（取組・手段）で構成され、全ての主体が取り組む普遍的なもの。

### ○脱炭素社会

ゼロカーボンを実現する社会。

# 「公立大学法人札幌市立大学中期目標(第四期)(案)」 に対するご意見記入用紙

●お名前 \_\_\_\_\_

●年齢 (該当する番号に○をつけてください)

①19歳以下 ②20代 ③30代

④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70歳以上

●ご住所 \_\_\_\_\_

(法人又は団体の場合はその名称及び代表者のお名前、主たる事務所の所在地をご記入ください)

ページ・項目

ご意見

●提出先

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

まちづくり政策局政策企画部企画課(市役所5階)

FAX:011-218-5109 電子メール:daigaku@city.sapporo.jp

ホームページ:<http://www.city.sapporo.jp/daigaku/>

※用紙が足りない場合は、別の用紙にご記入のうえご提出ください。また、この用紙をコピーしてご使用いただいても構いません。  
※お名前、ご住所、年齢は、集計以外の目的に用いることはありません。個人情報保護法の規定に従って、適正に取り扱います。